

住宅の地震対策

耐震診断・改修・建替え

お住まいの住宅の耐震性を確保し、地震に備えましょう。耐震に関する診断・改修・建替えを行う際は、町の助成制度をご利用ください。

☎ 都市計画課開発建築担当 ☎ 236・237

助成の内容

耐震診断	戸建て住宅等	費用の1/2の額または限度額5万円のいずれか少ない額
	分譲マンション等	一棟につき、費用の1/2の額、戸数に2万円を乗じた額または限度額100万円のうち最も少ない額
耐震改修	戸建て住宅等	費用の20/100の額または限度額20万円のいずれか少ない額
	分譲マンション等	一棟につき、費用の20/100額、戸数に10万円を乗じた額または限度額500万円のうち最も少ない額
建替え	戸建て住宅等	費用の20/100の額または限度額20万円のいずれか少ない額

▶ **対象**：昭和56年5月31日以前に建築確認を取得し、工事に着手した既存住宅の所有者

※詳細な条件や申請書等は町ホームページをご覧ください。

※業者と契約する前に必ず申請してください。

地震が起きたときの対策

ブロック塀の安全性

6月18日に発生した大阪北部を震源とする地震では、塀の倒壊により尊い命が奪われました。

塀の安全性の確保は所有者の責任です。取り返しのつかない事態を未然に防ぐため、老朽化が疑われる場合は点検等を行いましょう。



☎ 自治安心課防犯防災担当 ☎ 265～267

●町有施設のブロック塀等の調査結果

建築基準法に適合しない疑いのあるブロック塀を有する施設	劣化や損傷が生じているブロック塀を有する施設
<ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎 ・三芳小学校 ・富士塚第3子ども広場 ・新開第2子ども広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・三芳小学校 ・富士塚第3子ども広場 ・新開第2子ども広場

※上記施設に関しては、早急に危険回避のための改修工事を行い、8月末までにすべて完了する予定です。

災害とSNS

災害が起きたとき、とにかく必要なのが「情報」。
SNSを使った情報集めや情報共有について、町の防犯防災担当に聞いてみました。

【写真】災害時の対応や災害を未然に防ぐ業務を担当している自治安心課防犯防災担当の蓮見主事補。

避

難所の開設、危険区域、家族や友人の安否、被害状況――。

災害が起きたとき、様々な情報を集めなければなりません。そんなときに役に立つのがSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）です。

「生」の情報

「自分のいる地域が、今、どうなっているか」を即時に知るには、SNSが有効です」と語るのは、三芳町自治安心課防犯防災担当の蓮見主事補。SNSで発信される情報は、災害発生時の緊張感を持っている貴重な情報であるといえます。

「例えば、豪雨災害などの場合は、降雨状況などと一緒にSNSの情報を照らし合わせ、家族と連絡を取り合ったり、いつでも避難できるように準備したりできるようになります」と蓮見主事補。様々な発信者からのダイレクトな情報を受け取ることが、これまで手に入らなかった「生」の情報をリアルタイムで手に入れることができます。

あくまできっかけ

一方、SNSの情報を活用するときに気を付けなければならぬこともあります。

「一つは、発信される情報の中にデマや誤報が多いことです。あくまで知るきっかけとして捉え、テレビや町からの発表、信頼できる人からの発信など、別のルートからの情報と照らし合わせて真偽を確認してください。二つ目は、自分で情報を発信するときの注意点ですが、いつ、どこで、何が、起こっているのかを添えて発信してください。位置と時間は重要な情報です。それを見た人が客観的に状況を把握できるようになります。」



↑「日頃から情報収集に慣れておくことが重要」と語ります。

三芳町の公式SNS

普段、町の魅力的なイベント情報などを発信する公式SNSでは、災害時に避難所開設情報などを発信します。普段から登録しておき、使い方に慣れておくことで、災害時にも焦らず、正確な情報を手に入れることができます。

↓ SNSで情報を発信。登録している人に情報が一斉に届きます。



たくさんの方が飛び交うSNS。全てが正しい情報とは限りませんが、中には命をつなぐ情報が含まれている場合も。上手に付き合うためにも、今から公式SNSも含めて登録しておき、災害に備えてみてはいかがでしょうか。

危険度をあらかじめ確認

ハザードマップ

災害が起きたときの危険度や避難場所をマップ化したハザードマップ。お住まいの地域のことを確認して、もしものときに備えてください。

地震

洪水

内水

「カタボケ」でも配信中!

災害時に被害状況を確認

三芳町の公式 SNS

災害時には、ツイッターでは被害状況や避難所開設の情報などの簡単な情報を迅速に、フェイスブックではまとまった詳しい情報を写真付きで発信します。

簡単な情報を迅速に！
公式ツイッター



詳しい情報をまとめて！
公式フェイスブック



被災者情報を一括管理

被災者支援システム

1995年の阪神淡路大震災の教訓を活かし、兵庫県西宮市が開発した「被災者支援システム」の使用を開始しました。被災者支援情報の管理、避難所関連、緊急物資の

管理等、災害時に必要な事務を最大限サポートしてくれるシステム。災害時に多くの情報を一括管理し、一早く復興をめざすことができます。



第5回地域連携避難訓練

町内全ての指定避難所（小中学校8校）を開設する「地域連携避難訓練」を行います。行政区や避難所ごとに訓練内容が異なりますので、お住まいの行政区のお知らせをご覧ください。

☎ 自治安心課防犯防災担当 ☎ 265

▶ **日程**：10/13（土）13:30～

▶ **場所**：一時避難場所、指定避難所（小中学校8校）